

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300752
事業所名	グループホーム悠遊荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームを訪れるボランティアも多く、中学生や看護学生の実習を受け入れている。「子供110番の家」として子供たちがトイレを借りに来ることもある。ホームの祭りには地域からも参加があり、双方向の交流がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 行政・地域包括支援センター・町内会長・民生委員・利用者・家族等の参加を得て、年6回開催し、ホームからの報告や、目標達成計画の進捗状況の報告がある。参加者の意見をサービス向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、市や地域包括支援センターの担当者が参加しており、介護相談員の受け入れ等により、ホームの状況は市の窓口に理解されている。介護事業連絡協議会の勉強会に参加して交流を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の面会は多く、管理者や職員が家族と話す機会も多い。職員全員が利用者の状況を把握し、家族の面会時は職員誰でもが「個人記録」、「メモリーブック(利用者個々の歴史のアルバム)」を使用して近況を伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	